

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会対策特別委員会

- 1 開催日時 令和2年7月14日（火） 9時58分～11時18分
- 2 開催場所 第四委員会室
- 3 説明員 文化スポーツ部長および関係職員
- 4 議事の概要

（1）鹿児島国体・障スポの開催にかかる動向を受けた県の考え方について

委員からは、今秋の鹿児島国体の開催延期を受けて、当県の国スポ開催時期も不透明な状況であるが、2024年夏にはパリオリンピックの開催が予定されており、その秋に開催される国スポは盛り上がる事が予想され、経済効果も期待できることをしっかりと認識し、2024年の当県開催を主張すべきである、このような状況ではあるが、障害者スポーツの選手は、とりわけ大会に出ることを生きがいとし、自身の進退をかけて競技を行っているため、選手ファーストで、情熱とスピード感を持って施策に取り組まれない、今後の大会の方向性を決めるためにも、情報収集を出来るだけ早急に積極的に行われたい、などの意見が出された。

（2）わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ県民運動アクションプログラムについて

委員からは、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式に基づいた今後の取り組み方や、鹿児島大会の動向がどのようにプログラムに反映されていくのか見えてこないため、改めて組み立て直して報告されたい、感染症拡大の度合いに応じた色々なパターンを想定し、感染症と付き合いながら大会を希望となるものにするために、大会全体の対応策の取りまとめを作るべきではないか、などの意見が出された。

（3）競技力向上に向けた強化拠点校の取組と指導者の確保・育成について

委員からは、2024年の大会に向けた競技力向上の取り組みとしているが、同年の開催が不透明な今だからこそ、将来に向けた恒常的な競技力向上を考える機会にすべきではないか、などの意見が出された。



委員会で配付された資料

- 1 鹿児島国体・障スポの開催にかかる動向を受けた県の考え方について
- 2 わたSHIGA輝く国スポ・障スポ県民運動アクションプログラムについて
- 3 競技力向上に向けた強化拠点校の取組と指導者の確保・育成について